



Corporate Profile

会社案内



横浜岡田屋

YOKOHAMA OKADAYA CO.,LTD.

変わらないのは、変わること。

125 周年からはじめよう。

1890 年（明治 23 年）に創業した岡田屋は、明治、大正、昭和、平成にわたって、時流にマッチしたビジネスを展開し続け、2015 年で 125 周年を迎えました。

社名にもあるように、横浜、ひいては神奈川県を中心に、地域主義ということを大切に考えて活動をしています。横浜岡田屋のメインブランドでもある「MORE'S」も、常に「お店の周りにいるお客様が何を求めているのか」を基本にして、地域の方と一緒に成長していきたいと思っています。これまでの 125 年を支えてくださったお客様、地域の皆さまに感謝申し上げます。

これまで私たち社員が常に行動の拠り所にしてきた「前向き宣言」。これは「私たちは今日も一日、お客様の喜びを、私たちの喜びとして、企業の発展と、自らの成長のため、前向きに行動し、目標に挑戦します」という一文でまとめられた社訓のようなものです。そして、岡田屋 125 周年を迎えた今こそ大切にすべきものとして、私は社員に「はじまりはおしゃべりから」ということを伝えています。「おはよう」からはじまるコミュニケーションを、もう一度大切にしよう。家族のように、みんなで生活するように支えあって働く横浜岡田屋の原点は、ここにあるのではないのでしょうか。社員同士のコミュニケーションを大切にすれば、お客様へも同じように温かく接することができる。私はそう信じています。

岡田屋の歴史は変化への対応の歴史。変わることを恐れず挑戦し続けてきました。お客様・お取引先・社員とその家族にとって良い会社であるために、時流に合わせたニーズに応じて進化しています。125 年という年月を重く感じることもありますが、なにより大切なのは今、そしてこれから。横浜岡田屋が目指すのは、社員が人生を賭けてここで働いてよかったと思える会社、若い人がここで働きたいと思える会社を作ることです。控えめで小さい、けれど力強い。そんな持ち前の前向きさで、岡田屋 125 周年を迎えた今、新たな一歩を踏み出していきます。

株式会社 横浜岡田屋

代表取締役社長

岡田伸浩



横浜岡田屋。
これまでと、これから。

岡田屋は、1890年（明治23年）に川崎で質店として誕生し、その後、呉服屋として長い歴史を刻んだ後、百貨店として、戦後日本の経済復興とともに発展してきました。

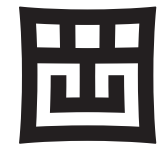
のちに岡田屋は、時代のニーズに合わせて都市型ショッピングセンター「MORE'S」の開発・運営を手がけ、現在に至ります。125年にわたる岡田屋の歴史は、地域のお客様のご要望や時代の変化に合わせて、様々な「もっと」を追い求めた歴史。これがMORE'Sの名前の由来にもなっています。そして、それは変化を恐れず、変化に対応し続けてきた歴史でもあるのです。横浜岡田屋は、歴史やこれまでの活動にとらわれることなく、時流に合わせて常に楽しいことを求め、これからも変化する続けていきます。

横浜岡田屋 4つの事業

横浜岡田屋は、主に4つの事業で成り立っています。モアーズを中心としたプロパティマネジメント事業、企業や学校、官公庁への商品の販売を行う外商事業、防災用品、天然水等の通販事業、そしてビルメンテナンス事業。これまでの岡田屋の歴史と培ってきた経験を生かすことで、様々な分野の事業を並行して運営することができます。

シンボルマーク

岡田屋創業125周年を迎え、シンボルマーク・ロゴタイプも一新しました。125年の歴史、そのしっかりとした土台から、それぞれの事業がさらに発展していく願いを込めました。このロゴと共に、これからの横浜岡田屋が広がっていくよう、社員全員が一丸となり、努めていきます。

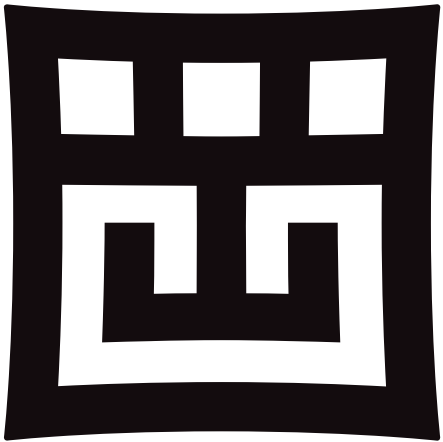


横浜岡田屋

YOKOHAMA OKADAYA CO.,LTD.

プロパティマネジメント事業
(MORE'S)

ビルメンテナンス事業



外商事業

通販事業

横浜岡田屋4つの事業

プロパティマネージメント事業

ショッピングセンター MORE’S を展開する横浜岡田屋には、中心繁華街において、規模に制約があるビルの運営実績があります。建物やロケーション、規模、競合状況、客層などをトータルに考えた総合的ベストソリューションをご提案します。そのショッピングセンターに、本当にふさわしいプロパティマネージメントとは何か、どのようにすればご出店者様にスポットライトが当たるのか。このことを常に考えて、販促企画や顧客管理、店舗デザイン、各種セールスプロモーションなどを行っています。柔軟性に富む経営戦略と継続性を重視した現場オペレーションを駆使して、ビジネスパートナーと“Win-Win”の関係が築けるよう、真摯に努めてまいります。

プロパティマネージメント事業のメインブランド「MORE’S」

神奈川県を表玄関「横浜」、活気あふれる「川崎」、海の手「横須賀」、そして東京都に隣接するベッドタウン「相模大野」。横浜岡田屋のプロパティマネージメント事業のメインブランドである「MORE’S」は、これらの4つの土地で展開しているショッピングセンターです。立地や地域特性に合わせて店ごとに異なるコンセプトを掲げ、特色のある商業ビル開発とその運営管理を行います。ショッピングセンター企画・マーケティングから、建築コンサルティング、テナントリーシング、運営・マネージメント、さらには販促用品の手配やイベント企画設営などの関連商事事業まで。効果的なプロパティマネージメントの“A to Z”をワンストップで提供。過去にとらわれず、常に自然体で「いま求められているモノやサービス」を価値ある状態で提供していきます。

また、清潔な売り場、従業員の笑顔、うそのないサービスで、またご来店いただきたいという思いを“Please Come Again（またどうぞお越しくださいませ）”という運営ポリシーに込めて、ご出店者様の皆さまと共有し、マーケットとご出店者様の「もっと」にしっかりお応えしていきます。

MORE’S の3つの戦略

1. 立地ごとのコンセプトを持つこと

駅に近いことはすべてのモアーズに共通していますが、コンセプトは各店で異なります。客層、乗降客、アクセスなどの「立地」、建物の規模や地形などの「規模」、ほかの商業施設などの「競合」の3つに加えて、その時代の時流を考え、その場所に求められる店舗をつくります。ロゴがそれぞれ異なるのも、こういった理由からなのです。

2. ご出店者第一主義

ご出店者様の強みを生かし、ご出店者様とともに、店舗へ足を運んでいただくお客様へ満足届けます。コラボレーション企画、地域イベントへの共同参加、研修制度、イベント等を行うことで、横浜岡田屋と店舗の相互協力を強める活動を行っています。「For the shops.（ご出店者様のために）With the shops.（ご出店者様とともに）」の気持ちを大切にしています。

3. 変わり続けること

時代の変化を敏感に感じ取り、変化するお客様が行きたくなる店はどんな店なのかを日々考え、変化しています。ニーズをとらえ、各店のコンセプトの見直しやフロアのゾーニングなどを定期的に行い、いつでも新たな風を取り入れます。場所がよくても、ただお店を並べているだけではお客様は満足しません。変わり続けることで、時代とニーズに合った満足をお届けします。

横浜モアーズ

MORE'S

「おしゃれをして出かけたくなる、ちょっと特別なショッピングビル」

MORE'Sの二号店として、1982年に横浜駅西口にオープン。「やさしい大人のカップル」をコンセプトに、日常の生活を豊かにするお手伝いをします。2008年の全面リニューアルで、幻想的な外観やゆとりのある空間を取り入れた“ちょっと特別なヨコハマのお店”に生まれ変わりました。横浜の街全体を盛り上げるひとつとして、洗練されたおしゃれなビルであり続けます。

〒220-8533 神奈川県横浜市西区南幸 1-3-1 TEL:045-311-1471（代表）



建物規模：地下3階～地上9階、塔屋3階
延床面積：27,200㎡
店舗面積：17,700㎡
店舗数：60店
付帯設備：エスカレーター20基
エレベーター(客用)5基
エレベーター(人荷用)2基
カーリフト1基
駐車場：屋上30台

横須賀モアーズシティ

MORE'S CITY

「最大規模のMORE'Sは、家族みんなで楽しめるフルラインの品揃え」

1997年開業の、最も新しいMORE'Sは京浜急行横須賀中央駅に直結。総店舗面積約32,500㎡、店舗数約160店はMORE'S最大の規模を誇っています。「フルライン、フルショップ、フルターゲット」を掲げ、横須賀の皆さんのライフスタイルを作ることを目指しています。ポイントカードや開店記念日のイベントなど、地域に根ざした活動が強みとなっています。

〒238-8533 神奈川県横須賀市若松町 2-30 TEL:046-825-1471（代表）



建物規模：地下1階～地上9階
延床面積：45,500㎡
店舗面積：32,500㎡
店舗数：160店
付帯設備：エスカレーター19基
エレベーター(客用)7基
エレベーター(人荷用)5基
駐車場：自走式300台

川崎モアーズ

MORE'S

「街の中の商店街を思わせる、多種多様なテナントが魅力」

JR川崎駅東口前に建つ商業ビル。1980年に、MORE'S一号店として開業。「賑わいのある立体商店街エンジョイビル」のコンセプトのもと、地下2階から8階まで、まるで一つの商店街のように多様なテナントを揃えています。バリアフリーに力を入れ、幅広い層をターゲットにしています。住宅の多い庶民的な街でありながら開発が進む川崎駅で、個性の強い館を目指します。

〒210-8504 神奈川県川崎市川崎区駅前本町 7-7 TEL:044-211-1131（代表）



建物規模：地下2階～地上8階、塔屋2階
延床面積：18,800㎡
店舗面積：10,700㎡
店舗数：51店
付帯設備：エスカレーター19基
エレベーター(客用)2基
エレベーター(人荷用)2基
プチカレーター(ギネス認定、世界最小)1基
駐車場：タワーパーキング30台

 MORE'S

「女性のための、美と健康のオアシス。」

“Beautiful”をコンセプトとした、女性のためのビルです。エステやマッサージ、美容室、ネイルサロン、脱毛サロンなど、女性の美にまつわるお店。川崎駅東口駅前ロータリーからも目に入る建物は、美を追求する女性たちが入りやすいように作られたスタイリッシュな外観が特徴です。川崎モアーズの隣に位置しているので、買い物帰りにリフレッシュしていただけます。

〒210-0007 神奈川県川崎市川崎区駅前本町 5-5



相模大野モアーズ

MORE'S

「周辺住民のニーズに寄り添う地域密着型ショッピングセンター」

MORE'S三号店として1992年に小田急相模大野駅前にオープン。館内をショッピング、アミューズメント、飲食の3ゾーンに分け、一回の来店で1日楽しめる「時間消費型」のショッピングセンターとなっています。周辺に住む住民が主な客層で、住民の生活に密着したテナントが特徴です。「エンジョイライフ生活活性館」をコンセプトに、ライフソリューションをお手伝いします。

〒252-0370 神奈川県相模原市南区相模大野 3-9-1 TEL:042-765-1471（代表）



建物規模：地下1階～地上7階
延床面積：10,400㎡
店舗面積：6,500㎡
店舗数：29店
付帯設備：エスカレーター12基
エレベーター(客用)2基
エレベーター(人荷用)2基
カーリフト2基
駐車場：タワーパーキング64台

外 商 事 業

官公庁をはじめ、企業や学校など団体のお客様のご要望にお応えするサービスとサポートをします。記念品、ノベルティ、コスチューム、家電製品、ファニチャー、防災品など広範囲な商品の発掘、調達。そしてオリジナル品の開発まで、あらゆる商品の提案から販売まで行っています。特に防災用品においては、オリジナル・コラボ商品の企画・開発に力を入れています。

通 販 事 業

天然活性水素水とも呼ばれ、健康志向のニーズに人気の「日田天領水」やお店では手に入りづらい話題の「防災用品」のタイムリーな販売を核とした通販事業を展開しております。時流に乗った注目アイテム、ジャンルの商品を発掘・開発して、インターネットを通して社会に発信しています。

ビルメンテナンス 事業

清潔で快適な施設、職場、売場などの環境は、顧客はもちろん従業員にとっても重要です。横浜岡田屋では、ビルの清掃はもちろん、設備管理や防災設備の工事、電気や空調機の機器工事、害虫駆除など、全ての人が心地よく、安心して過ごせる空間作りのメンテナンスサービスを提供しています。大切な資産である建物を、オーナーと同じ目線で愛情を持ってメンテナンスします。

株式会社 横浜岡田屋

〒220-6211 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-5 クイーンズタワー C 棟 11F
TEL：045-414-5000 FAX：045-228-3400 URL：http://www.okadaya.com

横浜岡田屋

History & Profile

沿革
History



復興した岡田屋呉服店



岡田屋呉服店2階建て店舗増築



3階建てに改装



鉄筋5階建て本格百貨店開業



横浜おかだや



ハワイ店



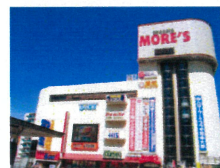
横浜岡田屋モアーズ



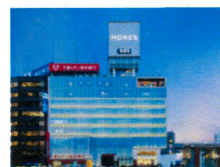
川崎岡田屋モアーズ



横須賀モアーズシティ



相模大野岡田屋モアーズ



横浜モアーズ



bモアーズ



横浜ハンマーヘッド

- 1890 初代岡田宗直が警察官退官後、川崎堀之内に於て質屋を開業（明治23年11月23日）
- 1910 二代目岡田宗直が家業を継承し、岡田屋呉服店を創設（明治43年10月）
- 1945 戦災による店舗消失のため一時営業を中止（昭和20年4月）
- 1946 川崎市駅前本町7番地の現在地に於て営業再開（昭和21年9月）
- 1947 株式会社岡田屋呉服店に組織変更（昭和22年5月）
- 1951 株式会社岡田屋に商号変更（昭和26年6月）
- 1955 岡田屋本館鉄筋4階建て新築第1期工事完成（昭和30年12月）
- 1963 岡田屋本館を増築完成。冷暖房、エレベーター、エスカレーター完備の近代的百貨店として飛躍（昭和38年5月）
- 1966 横浜駅西口に一大ショッピングコンビナート形成のため、横浜おかだや開店を通産省に申請（昭和41年11月）
- 1967 株式会社横浜岡田屋設立（昭和42年6月）横浜駅西口に着工（昭和42年6月）
- 1968 横浜おかだや開店（昭和43年11月）
- 1972 ハワイ店開店（昭和47年8月）、1999年にかけ17店舗展開
- 1973 ロサンゼルス店開店（昭和48年1月）、2000年にかけ9店舗展開
グアム店開店（昭和48年1月）、1999年にかけ7店舗展開
香港店開店（昭和48年8月）、1997年にかけ3店舗展開
- 1974 サンフランシスコ店開店（昭和49年7月）、1999年にかけ3店舗展開
- 1978 川崎岡田屋モアーズ新築着工（昭和53年5月）
- 1979 バンクーバー店開店（昭和54年11月）、1982年にかけ2店舗展開
- 1980 川崎岡田屋モアーズ開店（昭和55年5月）
- 1982 サイパン店開店（昭和57年8月）、1997年にかけ2店舗展開
横浜岡田屋モアーズ新装開店（昭和57年11月）
- 1985 横須賀岡田屋モアーズ出店を発表（昭和60年11月）
- 1988 ニューヨーク店開店（昭和63年3月）、1990年にかけ2店舗展開
川崎岡田屋モアーズ全館リフレッシュオープン（昭和63年4月）
オーストラリア店開店（昭和63年11月）1995年にかけ8店舗展開
- 1989 YES'89 横浜博覧会開催、出店（平成元年3月～10月）
川崎岡田屋モアーズに世界最短エスカレーター・ブチカレーター設置（平成元年10月）
<1990年度版ギネスブックに掲載>
- 1990 創業百周年記念式典開催（平成2年11月）
創業百周年記念イベントを横浜アリーナで開催（平成2年11月）
- 1991 相模大野岡田屋モアーズ建築着工（平成3年3月）
- 1992 ぶちモアーズ5中央林間店開店（平成4年3月）
相模大野岡田屋モアーズ開店（平成4年9月）
- 1993 横浜岡田屋モアーズ、リシャインオープン（平成5年2月）
- 1995 横須賀モアーズシティ地鎮祭挙行、建築着工（平成7年7月）
- 1996 横浜岡田屋モアーズ、リフレッシュオープン（平成8年3月）
- 1997 ラスベガス店開店（平成9年3月）、2000年にかけ3店舗展開
横須賀モアーズシティ開店（平成9年10月）
- 2000 横浜岡田屋モアーズ、リフレッシュオープン（平成12年3月～11月）
- 2004 ラスベガス店を除き海外店舗撤退（平成16年2月）
川崎モアーズ、リフレッシュオープン（平成16年10月）
- 2007 株式会社横浜岡田屋と株式会社岡田屋を合併し、株式会社横浜岡田屋として組織統合（平成19年3月）
みなとみらい21、クイーンズタワーに本部移転（平成19年3月）
- 2008 bモアーズ開店（平成20年4月）
横浜モアーズ、リニューアルオープン（平成20年10月）
- 2010 ラスベガス店閉店、日本の国際化とともに海外店展開もその役割を終了（平成22年1月）
- 2013 横浜モアーズ、セカンドリニューアルオープン（平成25年10月）
- 2016 創業125周年記念社員の集い開催（平成28年2月）
- 2019 新港ふ頭客船ターミナル（横浜ハンマーヘッド）開店（令和元年10月）

会社概要
Profile

会社名	株式会社 横浜岡田屋	
本社	横浜市西区南幸1丁目3番1	
本部	横浜市西区みなとみらい2-3-5 クイーンズタワーC棟11階	
創業	明治23年11月23日	
設立	昭和42年6月16日	
決算日	5月末日	
資本金	1億円	
年商	263億9,602万円（令和2年度）	
事業内容	ショッピングセンターの企画運営 プロパティマネジメント事業 外商事業 ビルメンテナンス事業 インターネット通信販売事業	
店舗	川崎 MORE'S / 横浜 MORE'S / 横須賀 MORE'S CITY / 相模大野 MORE'S / 中央林間 MORE'S / b MORE'S / 横浜ハンマーヘッド	
役員	取締役社長（代表取締役） 取締役会長 専務取締役 常務取締役 取締役 取締役 取締役 取締役 執行役員 執行役員 執行役員 執行役員 監査役	岡田 伸浩 岡田 房子 山城 泰介 三橋 一夫 岡崎 和美 千 玄室 鵜池 昭吾 岡田 衛 小島 洋之 杉山 淳一 飛田 健一 秋津 達也 窪川 秀一